

平成 29 年 5 月 23 日

開 会 10 時 00 分

○樫村議長

議員定数 16 名中、ただいまの出席議員は 15 名で、議会は成立いたしましたので、「平成 29 年第 2 回宗像地区事務組合議会臨時会」を開会いたします。

直ちに会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付しているとおりです。

日程第 1「会議録署名議員の指名」を行います。

本臨時会の会議録署名議員は会議規則第 78 条の規定により、14 番、永島議員、15 番、花田議員を指名いたします。

日程第 2「会期の決定について」を議題といたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は本日 1 日限りとしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(異議なし)

「異議なし」と認めます。

よって会期は本日 1 日限りと決定いたしました。

日程第 3 「諸報告」に入ります。

まず、議長としての報告をいたします。

13 番、北崎正則議員につきましては、4 月 17 日に議員辞職願が提出されましたので、同日、許可したことを報告します。

次に、谷井組合長報告をお願いいたします。

○谷井組合長

おはようございます。

本日は、「平成 29 年第 2 回宗像地区事務組合議会臨時会」を、開催いたしましたところ、お忙しい中議員の皆さんにおかれましては、ご出席をいただき誠にありがとうございます。

本日の議案を説明いたします。

議案 3 件でございます。

第 16 号議案は「財産の取得について」であり、第 17 号議案は「一般会計補正予算について」でございます。

第 18 号議案は「水道事業会計補正予算について」であり、詳細につきましては事務局長から議案の中で説明させますので、よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

以上です。

○樫村議長

日程第 4 第 16 号議案「財産の取得について」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

花田事務局長。

○花田事務局長

第 16 号議案「財産の取得について」提案理由の説明をいたします。

ページ 16 でございます。

本日の議案の 3 枚目をご覧ください。

本件につきましては、平成 29 年 5 月 8 日に消防ポンプ自動車 2 台を購入するために、随意契約により契約の相手を定めましたが、この相手と物品売買契約を締結するにあたり、宗像地区事務組合議会の議決に付するべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第 3 条の規定により、議会の議決を求めるものであります。

取得する財産の種類等は消防ポンプ自動車 2 台でございます。

取得価格は 6,804 万円。

これは消費税込みの金額で、契約の相手方は愛知ポンプ工業株式会社、参考資料の中で納入期限を記載しております。

また、本日お手元に配付しております入札結果調書、情報公開資料と大きく表示したものでございます。それと平成 29 年度 消防ポンプ自動車整備事業費、これを合わせてご参照いただきたいと思います。

説明は以上でございます。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○樫村議長

これより質疑に入ります。

質疑ございませんか。

福田議員。

○福田議員

初歩的な質問になりますけれども、私はちょっと把握をしてないので教えていただきたいのですが、今回は随意契約ということでございますが、一般的にこの組合の物品購入に当たり、いわゆる入札と随意契約、これの切り分けはどうなっているのかということをお教えください。

○樫村議長

花田事務局長。

○花田事務局長

そこに調書を付けておりますように、指名競争入札で、契約の相手を見つけるつもりでございました。3 回の入札とその後の 1 番安価な金額を提示した業者と見積りを交しましたが、予定価格に達しなかったため、この日の入札は不調という取り扱いをしております。

ただし、入札会が終わりまして、この最低価格を付けました業者に、見積もりを出す意思があるかと尋ねましたところ、あるということでございましたので、後日、見積もりの提出をお願いして、予定価格を下回りましたので、この業者と契約をしたということでございます。

これはですね、俗な言い方ですけども、不落随契ということで地方自治法の施行令の中で認められた行為でございます。

地方自治法施行令第 167 条の 2 第 1 項 第 8 号、競争入札に付し入札者がいないとき、または再度の入札に付し、落札者がいないときということで、この場合は随意契約できるよという規定がございますのでそのようにさせていただきました。

以上でございます。

○福田議員

はい、わかりました。そういうふうになっているということで、今回のこの結果になったという過程は、今のご説明で大体私も理解できたのですが、3 回目の入札のときに、この三者が残られて、価格的には非常に近いわけですね。

これが最終的に 1 社しか残らなかったというのは、何かこのとこよくわかりません。この後の 10 万の差ですね。10 万、20 万の差というのが、3 回目の競争入札のあと 1 社に決まったというのは何か流れとして、なぜそうなったのかよくわからないのですけどね。良かったらもう少し補足説明をしていただきたい。

○樫村議長

花田事務局長。

○花田事務局長

入札の相手がいくらで提示してくるかというのは、全く私共にもどうすることもできません。ですから、なぜそうなったのかと言われても、私は説明ができないということで、すみませんがお答えさせていただきます。

○樫村議長

他にございませんか。

後まだありますか、福田議員。

○福田議員

その辺はそうですね、もうそういうことでしょう。

ただ一般的な話としてですが、やはり随意契約は非常に自由が利くし、それから非常に対応してもらいやすいというなどがある反面ですね、やっぱり業者との癒着とか、そういったことがありますので、基本的にはやっぱり入札というスタンスでと、日本全国で今は言っているわけですよね。そういった意味で、なるべくそういう状況にならないように、入札でしっかりと決めていけるような、そういう環境づくりも今後は大事じゃないかなと思います。

今後はそういった事を配慮しながら、入札に関しては、やっていただきたいというように思うのですが、いかがでしょうか。

○樫村議長

花田事務局長。

○花田事務局長

先ほど申しましたように、このチャンスを逃しますと、せっかく予算計上させていただいた車両は購入できなくなるというところもありますし、だから随意契約をしたというわけではございませんけども、こういった方法は先に俗な言い方をしましたけれども、不落随契ということで認められている行為でございます。そこはご理解をお願いしたいと思っております。

○樫村議長

他にございますか。

14 番、永島議員。

○永島議員

第 3 回目の見積りでございますが、7,100 万円の見積りがありますが、これは入札の

前に最低者と見積りを何回まで執りますというお話はされたのでしょうか。

1 回で終わりますとか。取得額 6,804 万円となっておりますが、6,804 万円の随意契約というのはわかるのですが、6,804 万円は書面で見積りの価格を貰われたのですね。それと、取得価格が 6,804 万円ということでございますが、契約金額はどれだけなのでしょう。

○樫村議長

花田事務局長。

○花田事務局長

見積書として、書面でいただいております。

それと、契約額は消費税込みの金額で 6,804 万円、これが消費税を入れた契約額でございます。

○樫村議長

永島議員。

○永島議員

取得価格と契約価格が違うのではないですか、消費税が入っているのですか。この中に消費税がいくら入っているかですね。入札金額がいくらで、入札金額について消費税は入ってないでしょう。8%は入ってないと思うのですよ。

ですから、この 8%分を引いたら相当になると思うのですが、その時の見積金額というのはいくらで出たか教えてください。

それと、見積りを何回まで執りますということは話されましたかと聞いたのですけれども、それは入札の時に話されていますか。

以上。

○樫村議長

中山企画財政係長。

○中山企画財政係長

入札を担当しております中山です。

まず入札の見積書の提出回数ですが、入札の運営の要領の中で定めております。

入札会するときにもその内容を説明しておりまして、入札は 3 回まで行うというルールにしております。

3 回で落札しない場合は、3 回目の最低入札業者の方に、1 度だけ見積りを提出してい

いただきますということでご案内もしておるところです。

今回、見積額は、入札会場では 7,100 万円でしたので、入札会は一旦そこで終了いたしました。

事務局長が申し上げましたように、最低入札価格を提示した愛知ポンプ工業に日を改めまして見積書の提出を依頼しました。

見積書の金額ですが、税抜で 6,300 万円です。最終的に契約額は消費税 8%を付して 6,804 万円となります。税額につきましては 504 万円となります。

以上です。

○樫村議長

他にございますか。

12 番、碓野議員。

○碓野議員

12 番、碓野でございます。

物体（消防車）の能力関係について説明していただきたいと思いますが、昨日福津市の上西郷で火災が発生いたしました。中々鎮火ができない状況であったようです。従って、この水槽容量 600 リットルによって、消火能力、水の量が不十分なところについては、能力的にも対応できるのかどうか。

昨日の状況からするとかなり時間がかかっている状況でございましたのでね。その内容についてどうなのか、対応できるのか、あわせて全体的に宗像消防署として、そういう事情の場合は、この機械が入ることによって能力的に十分に消火可能かどうか、その関係について説明をお願いいたします。

以上です。

○樫村議長

釜瀬警防課長。

○釜瀬警防課長

説明させていただきます。

昨日の火災はプラスチックのチップを粉砕して作るような業者でございます。その業者が粉砕したところに火が入りまして、それで延焼拡大したということになっております。

この圧縮空気泡消火装置の水槽が 600 リッター。これは泡を放射することができます。実際にこういうスクラップとか、プラスチックの火災にとっても有効でございます。

中の方に泡材が浸透しまして、再燃防止を図るとか、窒息消火を図るとか、今年度初

めてこの車を2台購入することにしました。

それで、今後、うちの方としても、消防活動に有効に活かせると聞いております。

以上でございます。

○樫村議長

他にございますか。

8番、永山議員。

○永山議員

財産を取得するという事で、今様々な説明いただきましたけれども、この2台の保管場所ですよ。消防署も駐車場がいっぱいだと思うのですが、どこに置かれるのか、そして、それによって出さなきゃいけない車があるのであれば、それをどうするのか、そのところを説明してください。

○樫村議長

釜瀬警防課長。

○釜瀬警防課長

説明させていただきます。

まず1台は田熊の本署に配置します。もう1台は徳重の赤間出張所に配備します。

どちらとも更新になっておりますので、旧の車両については、1台を予備車として配備します。1台は廃棄ということになります。

以上でございます。

○樫村議長

何かありますか。

10番、永島議員。

○永島議員

1台は予備で置き、もう1台は廃棄ということですが、まだ使えると思うのですよね。

昔、津屋崎町のときにどこか別の国に寄附したことがあるのですよ。

そういうことは考えられたことはないですか。

○樫村議長

釜瀬警防課長。

○釜瀬警防課長

はい、説明させていただきます。

1 台廃棄ということですが、こちらの車につきましては事務組合の方でオークションを考えております。昨年度もはしご車をオークションに出しております。実際に今回もポンプ車を廃棄した場合は、オークションにかけるということにしております。

以上でございます。

○樫村議長

他にございますか。

(なしの声)

ないようですので、これをもちまして質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

討論ございませんか。

(なしの声)

討論ないようです。

これをもちまして討論を終結いたします。

これより、第 16 号議案についての採決を行います。

本案は原案のとおり決することに、賛成の皆さんの起立を求めます。

(全員起立)

全員賛成であります。

よって、第 16 号議案は原案のとおり可決されました。

日程第 5 第 75 号議案「平成 29 年度宗像地区事務組合一般会計補正予算第 1 号について」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

花田事務局長。

○花田事務局長

それでは第 17 号議案についてご説明いたします。

ページには議案番号を付しておりますので、議案の 17 ページをお願いします。

第 17 号議案「平成 29 年度宗像地区事務組合一般会計補正予算第 1 号について」平成 29 年度宗像地区事務組合一般会計補正予算第 1 号を別紙のとおり提出する。
平成 29 年 5 月 23 日。

宗像地区事務組合 組合長 谷井博美。

次のページをお願いします。補正予算書によって説明をいたします。

歳入歳出予算の補正でございます。

第 1 条歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ 2,120 万円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 20 億 8,267 万 8,000 円とするものでございます。

補正の内容につきまして、事項別明細書に沿って説明をします。

歳入について、7 ページ 8 ページをお願いいたします。

1 款 分担金及び負担金 1 項 負担金 4 目 消防費負担金につきましては、補正前の額 13 億 9,039 万 4,000 円に対しまして、2,120 万円を増額し、14 億 1,159 万 4,000 円とするものでございます。

これは消防費の歳出の補正と関連をしておりますけれども、平成 29 年 4 月 1 日から消防本部に宗像市の職員 1 名、福津市の職員 1 名、合計 2 名の派遣職員を受け入れております。

これら職員の人件費相当額を、本組合で負担するための財源として、両市負担金の増額を求めるものでございます。

職員の派遣に至りました経緯としましては、近年、全国の消防においてハラスメント事案が増加していることを受けまして、平成 29 年 2 月頃から国や県からハラスメント防止対策を実施するよう指示がありましたので、急遽、職員派遣の決定をしております。このようなことから今回補正予算を計上しております。

次に歳出について説明をいたします。

9 ページ、10 ページをお願いいたします。

2 款 総務費 1 項 総務管理費 1 目 一般管理費につきましては、補正前の額 3,620 万 9,000 円に対しまして、78 万 8,000 円を増額し、3,699 万 7,000 円とするものでございます。

平成 29 年 4 月 1 日からすべての地方公共団体におきまして、週 20 時間以上働く短時間労働者が社会保険の適用対象となったことから、4 節 共済費におきまして、再任用職員 2 名分の社会保険料を増額しております。

次に 3 款 衛生費 1 項 保健衛生費 1 目 保健衛生総務費は、補正前の額 2,326 万 1,000 円に対しまして、34 万 9,000 円を増額し、2,361 万円とするものでございます。

増額の内容は先ほどと同様で、4 節 共済費におきまして、任期付き職員 1 名分の社会保険料を増額しております。

次に 3 款 衛生費 2 項 清掃費 1 目 し尿処理場費につきましては、補正前の額 1 億 3,556 万円に対しまして、35 万円を増額し、1 億 3,591 万円とするものでございます。

増額の内容は、先ほどと同様で、4 節 共済費につきまして、再任用職員 1 人分の社

会保険料を増額しております。

次に 4 款 消防費 1 項 消防費 1 目 常備消防費につきましては、補正前の額、17 億 4,664 万 2,000 円に對しまして 2,208 万 2,000 円を増額し、17 億 6,872 万 4,000 円とするものでございます。

補正の内訳でございますけれども、4 節 共済費においては、再任用職員 2 名分の社会保険料 88 万 2,000 円を増額しております。

19 節 負担金補助金及び交付金においては、先ほど説明いたしましたけれども、構成市の方から消防本部への派遣職員 2 名分の人件費相当が 2,120 万円を増額しております。

最後に 6 款 予備費 1 項 1 目 予備費につきましては、補正前の額 740 万円に對しまして、236 万 9,000 円を減額し 503 万 1,000 円とするものでございます。

これは社会保険料の増額分に対する調整でございます。

以上で、第 17 号議案 「平成 29 年度宗像地区事務組合一般会計補正予算第 1 号」の説明を終わります。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○樫村議長

これより質疑に入ります。

質疑ございませんか。

(なしの声)

ないようですので、これをもちまして質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

討論ございませんか。

(なしの声)

ないようです。

討論を終結します。

これより、第 17 号議案について採決を行います。

本案は、原案のとおり決することに賛成の皆さんの起立を求めます。

(全員起立)

全員賛成であります。

よって、第 17 号議案は原案のとおり可決されました。

日程第 6 第 18 号議案「平成 29 年度宗像地区事務組合水道事業会計補正予算第 1 号について」を議題とします。

提案理由の説明を求めます。

花田事務局長。

○花田事務局長

それでは、第 18 号議案について説明をいたします。

第 18 号議案「平成 29 年度宗像地区事務組合水道事業会計補正予算第 1 号について」

平成 29 年度宗像地区事務組合水道事業会計補正予算第 1 号を別紙のとおり提出する。

平成 29 年 5 月 23 日。

宗像地区事務組合 組合長 谷井博美。

「平成 29 年度水道事業会計補正予算第 1 号について」説明をいたします。

1 ページをお願いいたします。

第 2 条 平成 29 年度宗像地区事務組合水道事業会計予算第 3 条に定めております収益的支出の第 1 款 水道事業費用 第 1 項 営業費用を 115 万 6,000 円増額し、27 億 2,019 万 2,000 円としております。

第 3 条は、予算、第 8 条に定めた職員給与費を 115 万 6,000 円増額し、2,948 万 4,000 円とさせていただくものでございます。

補正の内容につきましては、事項別明細書によって説明させていただきます。

8 ページ 9 ページをお願いします。

主な補正内容につきまして、先ほどの一般会計と同様の理由でございます。

平成 29 年 4 月 1 日からすべての地方公共団体におきまして、週 20 時間以上働く短時間労働者が、社会保険の適用対象となったことから、5 節 法定福利費におきまして、再任用職員 3 名分の社会保険料を増額させていただくものでございます。

以上で、「平成 29 年度宗像地区事務組合水道事業会計補正予算第 1 号」の説明を終わらせていただきます。

ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

○樫村議長

これより、質疑に入ります。

質疑ございませんか。

(なしの声)

ないようです。

これをもちまして質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

討論ありますか。

(なしの声)

ないようです。

討論を終結いたします。

これより、第 18 号議案について採決を行います。

本案は原案のとおり決することに、賛成の皆さんの起立を求めます。

(全員起立)

全員賛成であります。

よって、第 18 号議案は原案のとおり可決されました。

以上で本日の議題を終了いたしました。

本会議中、誤読などによる字句、数字等の整理・訂正につきましては、会議規則第 42 条の規定により、議長に委任いただきたいと思います。これにご異議ありませんか。

(異議なし)

「異議なし」と認めます。

よって、字句数字等の整理・訂正は議長に委任することに決しました。

これをもちまして本日の日程は終了いたしました。

「平成 29 年 第 2 回 臨時会」を閉会いたします。

閉 会 10 時 36 分